

2008年 4月 25日

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2008年4月15日】

団体名 NPO 法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

「持ちつ持たれつのネットワークづくり in 立川・若葉町」プロジェクト

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

目的: 歳をとっても住み慣れた家で暮らし続けたいと思う人を支える「助け合いのネットワーク」の方法を探ることが目的です。

背景: 高齢のためからだの衰えが進み、地域のつながりもなく、しかも家族のサポートも得られないといった状況になると在宅での暮らしは困難になります。これまでのチャンプルーの会の活動のなかから、地域に高齢者の自立的な生活を支える助け合いのしくみがあれば、ぎりぎりまで自分らしく暮らし続けることが可能になると実感したことが背景にあります。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

- ①チャンプルーの会の会員でチームをつくり、会員、レストランの顧客、デイサービス、配食サービスの利用者などを対象にアンケート調査を行い、どんなサポートができるか、必要とされているかを調べました。
- ②その結果を踏まえて講座を実施し、地域に合ったシステムのかたちを探りました。
- ③他のグループ、他地域での実践例について調べ、いくつかの案について検討しました。
- ④人と人が出会い、つながることが第一歩と考え、地域で活動しているグループや人、これからボランティアをしたいと考えている人が出会う場を設定し、名刺交換会を実施し、ボランティアの人材登録を始めました。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ①助け合いを必要としている高齢者は、アンケート調査への回答がむずかしいことも多いので、調査シートを作成し、気軽に困りごとについて話していただき、こちらでまとめる方法をとりました。
- ②アンケート調査だけでは不十分な部分については、ヒアリングシートを作成し、詳しく聞くことができました。
- ③サラの顧客、利用者、会員の方々を中心に調査をしたので、信頼関係ができていたこともあり、詳しい状況を知ることができました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

- ①地域でのつながりが希薄になり、サポートを求めている高齢者は多いということが調査の結果明らかになりました。一方、余暇を社会や地域のために使いたいという考えの人も多く、これをどう結びつけるかを試行錯誤しながら、チャンプルーの会として実施可能な助け合いのしくみを作る活動を2008年4月からスタートしました。
- ②当会の活動拠点が商店街にあるということもあり、困りごとランキング上位の「買い物」については、各商店と話し合いながら、買い物お届けサービスの可能性を探っていきます。協力店のリストを作り、登録しています。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし

